

華麗に大人の仲間入り

祝 成人

「成人の日」の十五日、午前十時から東陽小体育館で、大人の仲間入りを祝う成人式が行われました。

華やかな、晴着姿や背広姿が会場を埋め、二百三名（男九十七名女百六名）が晴れて大人の仲間入りをしました。

記念講演では、伊橋虎雄先生の「温故知新」古きをたずね、新しきを知る、大人への旅立ちに、祝福の講演があり、参加者一同熱心に聞き入っていました。

帰りに、記念の五葉松を受取りクラス会や、お宮参りに向かいました。

新井 川野 寛

自覚と責任を持って



今日私は「成人」を迎えて、新たな決意を抱いています。それには社会において自覚と責任を持てる人間になるという事であり、この事は、誰でも考えると思

います。しかし、どんな抱負を掲げたとしても、実行の伴わないものでは何の意味も持たないことになってしまいます。

そのためにも各々が異なった抱負のもとで自覚し責任を持って取り組む事こそが、成人を迎える者である私達の義務だと思います。今までは、自分という軌道の中で、社会が回っていたわけであ

りますが、これからは社会という軌道の中で自分が回って行くのであります。

つまり、社会あつての自分であり、自分あつての社会であるべくバランスを保って行く事が、大切だと思ひます。

これからは、社会を今までのように狭い範囲内でみつめる事なく、広範囲からみつめ社会現状を正確

人との触れ合いを大切にして

長塚 吉田 三枝子



成人として新たに決意致しました。

これからは、自分自身に責任を持ち、社会のルール、マナーを守り、人との触れ合い、和を大切に自分の意志を強く持ち、社会の荒

に把握し、一言一行、責任を持っていかなければなりません。

私は、今まで述べてきた事を、頭の中に置き、以前の自分を見直す事で今後の自分をみ出し、今日この時を人生の一区切りとし、新たな目標に向い、責任感あふれる社会の一員として、努力して行く決意であります。

波にも溺れず、世の中をうまく泳ぎ切りたいと思ひます。

そして、又光町民としての私は出来る限り、町の行事（卓球、バレーボール大会）などに参加し、そういう機会にもいろいろな方に、人間として、女性としてアトバイスして頂きたいと思ひます。

そういうアトバイスを薬として自分にふさわしい方と結婚して、幸せになれたら最高だと思ひます。

そして、今まで育ててくれた両親を、今度は私が面倒を見て、楽しい家庭で毎日を送りたいと思ひます。

これからの人生、いろいろと障害があると思ひますが、私は私なりにがんばって、世の中を歩いていきたいと思ひます。

明るい農村建設をめざして

小川台 鈴木 正明



二十才の考え方、生き方が、やり直せない人生の中で道標となつて、大きな影響を与えようと思ひます。

これからは、一人の社会人として責任と自覚を持って、次の世の担い手となつていかなければなりません。

しかし、私共は、親たちの育つた戦後の貧苦の時代とは違い、い